

議案第14号

西脇市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

西脇市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を次のように定める。

令和6年2月26日

西脇市長 片山象三

(理由)

一般職の給与に関する法律の改正による非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、所要の改正を行う必要があるため。

西脇市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

西脇市消防団員等公務災害補償条例（平成17年西脇市条例第 177号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の規定に掲げる欄に掲げる規定に、下線で示すように改正する。

改正後		改正前		
<p>(補償基礎額) 第5条 (略)</p> <p>2 (1) (略)</p> <p>(2) 消防作業従事者、救急業務協力者若しくは水防従事者又は応急措置従事者（以下「消防作業従事者等」という。）が消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことに死亡し、負傷し、若しくは疾病にかかり、又は消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことによる負傷若しくは疾病により死亡し、若しくは障害の状態となった場合には、<u>9,100円</u>とする。ただし、その額が、その者の通常得ている収入の日額に比して公正を欠くと認められるときは、<u>14,200円</u>を超えない範囲内においてこれを増額した額とすることができ、</p> <p>3・4 (略)</p>	<p>(補償基礎額) 第5条 (略)</p> <p>2 (1) (略)</p> <p>(2) 消防作業従事者、救急業務協力者若しくは水防従事者又は応急措置従事者（以下「消防作業従事者等」という。）が消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことに死亡し、負傷し、若しくは疾病にかかり、又は消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことによる負傷若しくは疾病により死亡し、若しくは障害の状態となった場合には、<u>8,900円</u>とする。ただし、その額が、その者の通常得ている収入の日額に比して公正を欠くと認められるときは、<u>14,200円</u>を超えない範囲内においてこれを増額した額とすることができ、</p> <p>3・4 (略)</p>			
別表（第5条関係）		別表（第5条関係）		
補償基礎額表		補償基礎額表		
階級	勤務年数		勤務年数	
	10年未満	10年以上 20年未満		10年未満
団長及び副団長	<u>12,500円</u>	<u>13,350円</u>	<u>12,440円</u>	<u>13,320円</u>
分団長及び副分団長	<u>10,800円</u>	<u>11,650円</u>	<u>10,670円</u>	<u>11,550円</u>
部長、班長及び団員	<u>9,100円</u>	<u>9,950円</u>	<u>8,900円</u>	<u>9,790円</u>
(略)				

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、令和6年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の西脇市消防団員等公務災害補償条例第5条第2項及び別表の規定は、この条例の施行の日以後に支給すべき理由の生じた同日以後の期間に係る傷病補償年金、障害補償年金及び遺族補償年金（以下この項において「傷病補償年金等」という。）について適用し、同日前に支給すべき理由の生じた損害補償（傷病補償年金等を除く。）及び同日前に支給すべき理由の生じた同日以前の期間に係る傷病補償年金等については、なお従前の例による。